

# SSHだより



7月号 2017年7月14日(金) 豊田西高校 SS委員

## 夏のSSH事業



7月27日(木)  
トヨタエコフルタウン



7/18(火)まで  
参加者募集中☆  
興味のある人はす  
ぐに申し込みを!



7月28日(金)  
食品工業技術センター



8月10日(木)  
面ノ木峠自然環境調査



8月25日(金)  
名古屋大学年代測定部



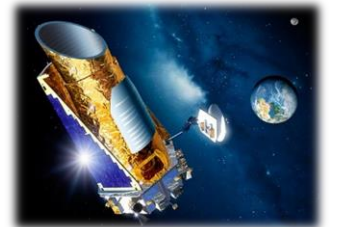
8月23日(水)  
トヨタ東富士研究所

## 今月の科学!

### NASAの系外惑星の発見について

NASAの系外惑星探査衛星「ケプラー」に搭載されている宇宙望遠鏡により、新たな太陽「系外惑星」の候補となる天体が219個発見されたと、ケプラーの研究チームが発表した。ケプラーは昨年、恒星「TEAPPIST-1」の周りを地球に似た惑星が周回していることを発見し、大きなニュースとなった。今回発見された天体の内、10個は地球と同じようなサイズで、恒星から近すぎず遠すぎず、暑すぎず寒すぎない範囲(ハビタブルゾーン)に存在するため、地球外生命体が存在する可能性があると考えられている。この発見により、これまでに発見された太陽「系外惑星」の数は計4034個となり、ハビタブルゾーン内にある地球サイズの惑星は計50個となった。また、ケプラーの観測データからは、惑星が大きく2種類に分けられることがわかった。岩石で出来た地球サイズの惑星と、海王星(地球の約388倍の直径)のようなガスでできた惑星の2種類に分けられる。2種類に分けられる理由は、元々地球サイズだった惑星が、何らかの原因によって水素やヘリウムなどを取り込み巨大化するためだと考えられている。

ケプラーの発見は素晴らしいが、2018年10月には、新たにジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡が始動する。今後はより遠くの「系外惑星」の観察が可能となるため、さらなる発見が楽しみだ。



## SSH人生講演会



天野浩先生

(名古屋大学教授)

「世界を照らすLED」

7月18日(火)

13時45分~15時15分

保護者220名、

校外からも150名参加!

2014年  
ノーベル物理学賞  
受賞!!

